

ペットカート miliclan lite

取扱説明書



取り扱い説明書ダウンロード

品質保証書付



安全にご使用いただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
- ここに記載した内容を無視した場合、ペットおよびご使用者のかたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、ペットおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示しています。
- 安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠️ 警告	誤った取り扱いをすると、ペットまたは人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠️ 注意	誤った取り扱いをすると、ペットまたは人が傷害を負ったり物的損害の可能性があります。
● お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。	
⚠️ 警告/注意をうながす内容があることを告げるものです。	
✗ 禁止行為であることを告げるものです。	
💡 ワンポイント	補足説明

△警告

- ベットに異変を感じたときは、すぐに使用を中止してください。
- 車の中や暖房器具の近くなどの温度が高くなることが想定される場所にベットを入れたまま放置しないでください。
- 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。
- 破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。
- ご使用中にハンドルに寄りかかたり、荷物をつるなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。
- ベットは思わぬ動作をしますので、ご使用中はつねに目を離さず、十分注意してご使用ください。
- ベットは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。特にハンドルにつるすと不安定になり、ベットカートが転倒するおそれがあります。

- ベットのリードを、ハンドルなどにつながないでください。ベットカートが転倒するおそれがあります。
- ベットカートに同時に3匹以上のベットを乗せたり、ベットをキャリー以外のところに乗せないでください。
- ご使用中にハンドルに寄りかかたり、荷物をつるなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。
- ベットは思わぬ動作をしますので、ご使用中はつねに目を離さず、十分注意してご使用ください。
- ベットカートは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。

△注意

- ベットを乗せる以外の目的で使用しないでください。
- 目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- ベットカートに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
- ベットカートを押すときは走らないでください。走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- 出荷時に取り付けられている部品および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。車体の破損の原因となります。
- 無理な段差乗り越えは、前輪に衝撃が加わり、ベットカートが転倒するおそれがあります。また、破損・故障の原因となります。縁石などの段差乗り越える場合は、わずかな段差でも速度を落とし、ステップや後脚ステーに足をかけてハンドルを手前に引き、必ず前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。
- 線路や排水口などの路面の溝に車輪を取られたり、はさまないように、溝の部分は前輪を浮かせて進んでください。

- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。ベットカートだけでなく使用者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いときは使用しないでください。
- 勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- 雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 長時間連続してのご使用は、ベットの負担となります。
- 1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- 本製品は、電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、鉄道会社へ本製品の利用条件確認の上で、ご使用ください。また、電車の中では、カーブや急ブレーキなどで転倒するおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。

点検とアフターサービスについて

- ご使用中に車体の破損、異常、締結部品のゆるみやカバーおよびベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシユーマーブラザにご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。お問い合わせの際は、後脚側に貼ってあるシールをご覧になって製品名・ロットNo.をお知らせください。
- 締結部品のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。

- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お手入れの際に取りはずした部品は、本書をよく読み直して取り付けてください。取りはずしたままでは思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品の修理／部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

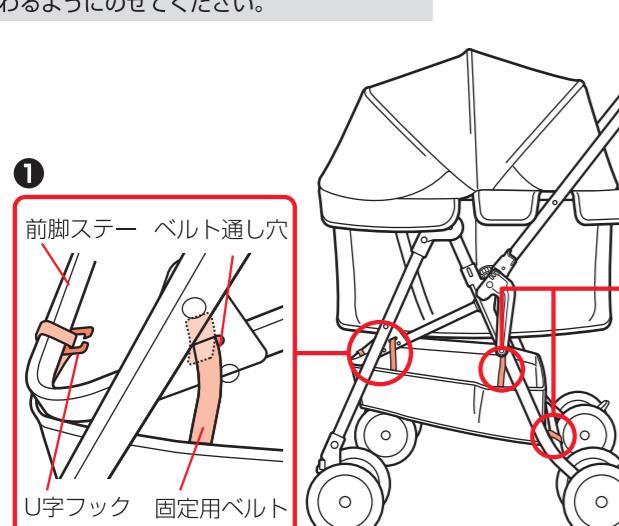
買い物カゴの取り付けた・使いかた

- △ 注意
- 5kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
 - 角のとがったものや、買い物カゴからみ出る容量の大いものは入れないでください。
 - 荷物の落下や買い物カゴの変形およびやぶれの原因となります。

- 荷物について
- できるだけ買い物カゴの底に均等に荷重がかかるようにのせてください。

- ① カゴ前部の固定用ベルトを前脚ステーに巻きつけ、U字フックにはさみ込んで取り付け。カゴ前部左右の固定用ベルトを、ベルト通し穴に通し、取り付ける。
- ② カゴ後部と左右の固定用ベルトを、それぞれ後脚と後脚ステーにベルトを巻きつけ、U字フックにはさみ込んで取り付ける。

取り付け後、しっかりと固定されているか、引っ張って確認する。



ペットカートの標準使用期間

ペットカートの「標準使用期間」は「新規購入後5年」です。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート(領収書)と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があり、この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体会の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

品質保証書 ペットカート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシユーマーブラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。	
製品名	ロットNo. (後脚側のシールをご覗ください)
お名前	お買い上げ日 (ただし保証規定による)
お客様 お住所	年月日
店名 販売店	TEL
修理メモ	

- お買い上げ後、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
- 領収書(レシート)を本書といっしょに保管してください。
- 修理依頼があった場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものですが、従ってこの保証書によつて法律上の権利を制限するものではありません。保証書は経営後の修理についてご了承ください。お問い合わせの際は、お問い合わせの販売店にお問い合わせください。
- 品質保証にご加入いただいた個人情報は、故障・修理の推進、修理料金の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

* 製品の仕様は改善などのために予告なしに変更することがあります。

コンビ株式会社

商事に関するお問い合わせ、商品購入、修理などのご相談は、コンシユーマーブラザにて対応いたします。

コンシユーマーブラザ(Customer Service Center)
〒339-0028 埼玉県さいたま市岩槻区上新田2丁目

受付時間：9:30～17:00(土日祝日、年末年始を除く)

■問合せ受付(各部ご相談)窓口 商品に関するお問い合わせ／修理のご要望／部品販売／各種ご相談／その他

TEL.(048)797-1004 FAX.(048)798-6109

156786090 23.09

各部のなまえ

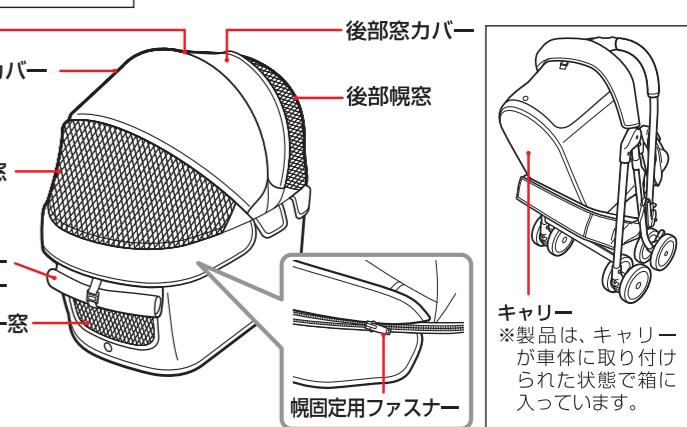
箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。

- ・車体
- ・キャリー
- ・取扱説明書（本書）

車体



キャリー



日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

● キャリー、幌、買い物カゴの洗濯

- ・水
- ・さわやかな湯船で手洗いでください。
- ・さわやかな湯船で手洗いでください。
- ・通常の洗濯用洗剤を使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよく読みください。
- ・長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
- ・十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干してください。
- ・乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

● 専用リードの洗濯

- ・専用リードは液面に浮かべ、水、またはぬるま湯の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- ・洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないう様に数回洗ってください。
- ・乾かすときは、乾いた布で水分を取り、陰干してください。

* 幂や買い物カゴのプラスチック部分などでケガをしないように注意してください。
※ 製品の特性上若干色あせることあります。
※ 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤の洗剤は肌荒れ、湿疹のおそれがありますのでお避けください。
※ 保管状態によりカビが発生する可能性があります。こまめに洗濯をし、清潔に保つよう心がけてください。

保管のしかた

直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかかる場所に立てて保管してください。
屋外で保管する場合は力バーをかけることをおすすめします。

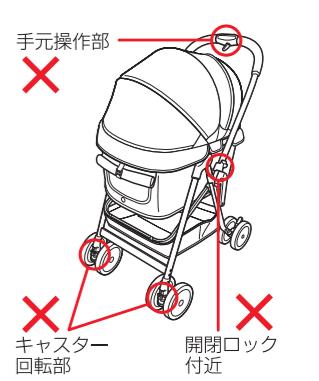
- △ 注意
- 火の近くや夏場など高温になる場所での保管は避けてください。
 - 車体やキャリーに荷物を重ねた状態で保管をしないでください。故障や変形の原因となります。
 - 車体を立てた状態で保管する場合は、必ずストッパーをかけてください。車体が動き出し転倒するおそれがあります。
 - 車体を覆かせて保管する場合は、横向きに寝かせたりしないでください。故障や変形の原因となります。

車体の清掃について

- 車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいてください。汚れがひどいときは、部品の変質、劣化の原因となります。

注油について

- さしみが発生したり、作動が鈍くなつて注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油(シリコーン油)を少量、注油してください。注油するときは、注油部分の油や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。
- 右に示す部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。



廃棄方法について

お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

幌の使いかた

使いかた

開くとき：幌固定用ファスナーを開き、幌を開く。
ファスナーは最後まで開いてください。

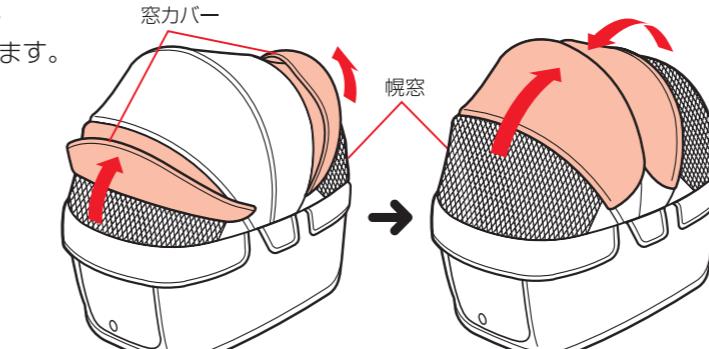
閉じるとき：幌を閉じて、幌固定用ファスナーを閉じる。

△ 注意

使用するときは、必ず幌を開じてください。また、ファスナーは最後まで閉じてあることを確認してください。
ベットが落ちるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

幌窓の使いかた

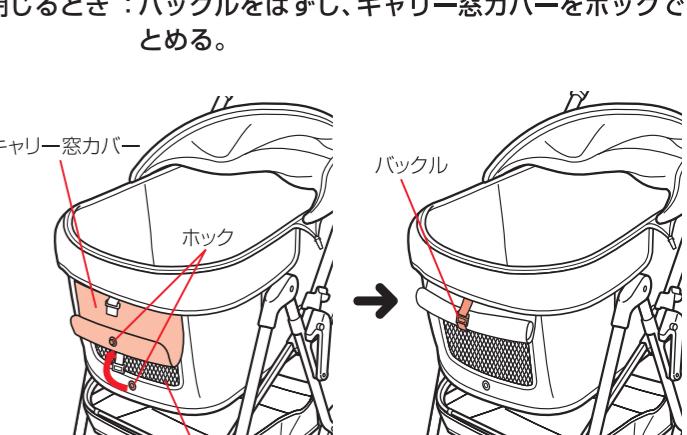
幌窓をめくり上げ、幌窓を開ける。
幌窓は前後2カ所備えています。



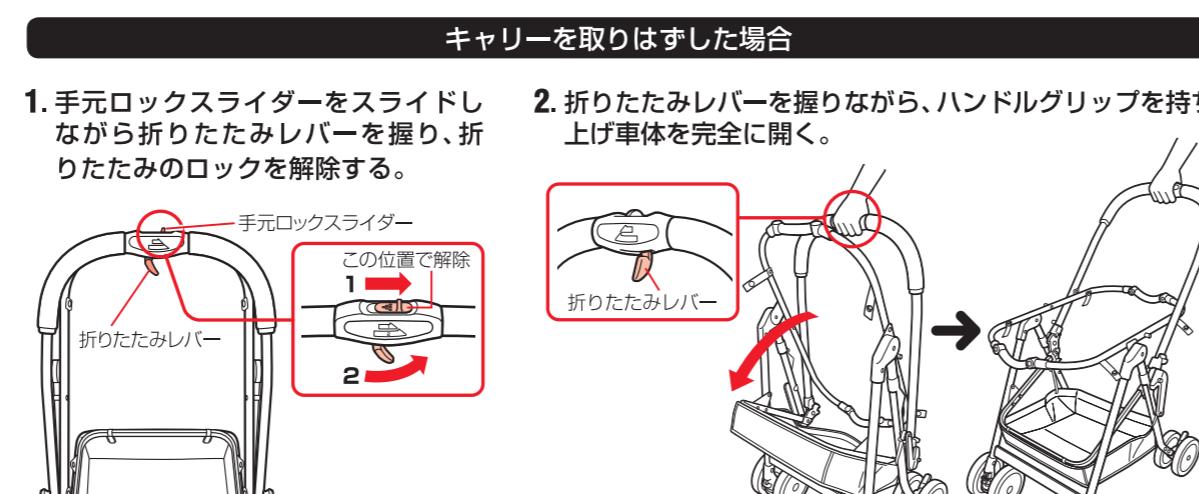
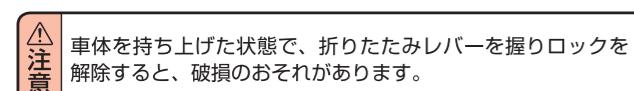
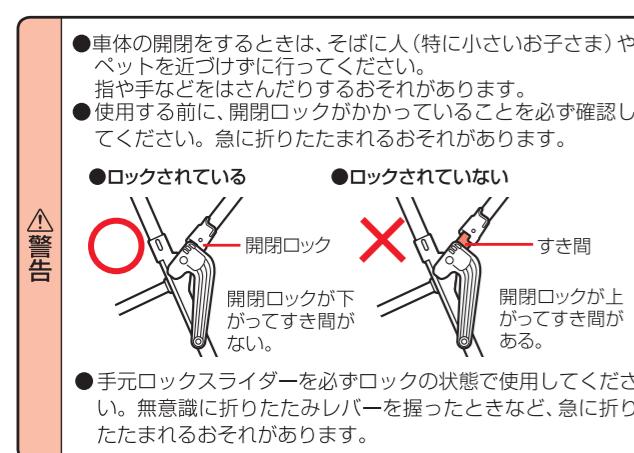
キャリー窓の使いかた

開くとき：キャリー窓カバーをとめているホックをはずし、図のようにまとめパックルでとめる。

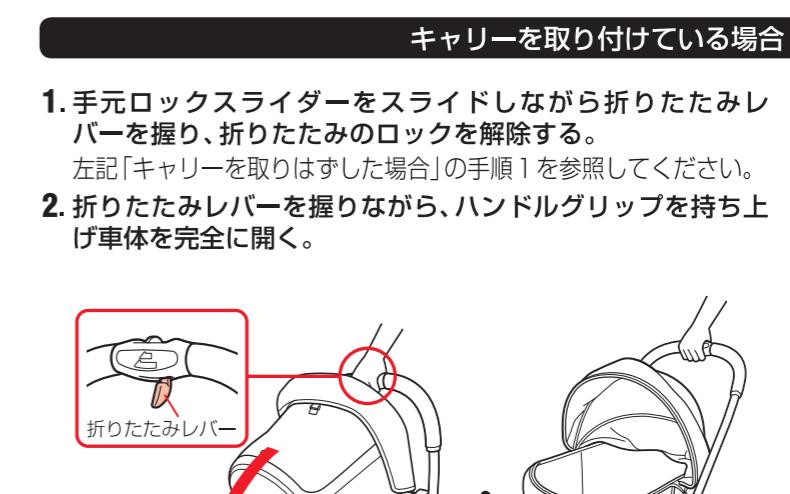
閉じるとき：パックルをはずし、キャリー窓カバーをホックでとめる。



車体の開きかた



3. 完全に開いたことを確認し、折りたたみレバーを離す。
自動的に手元ロックスライダーがロック位置に戻り、折りたたみがロックされます。

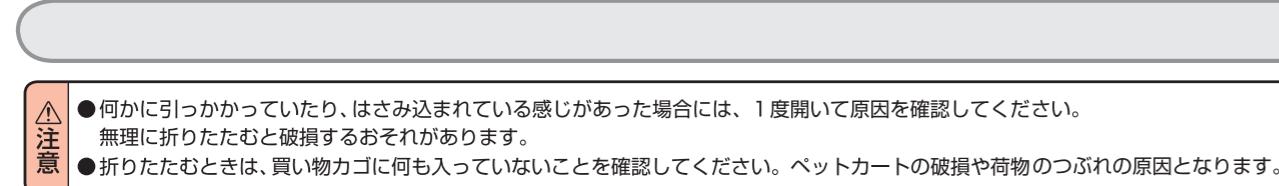


注意

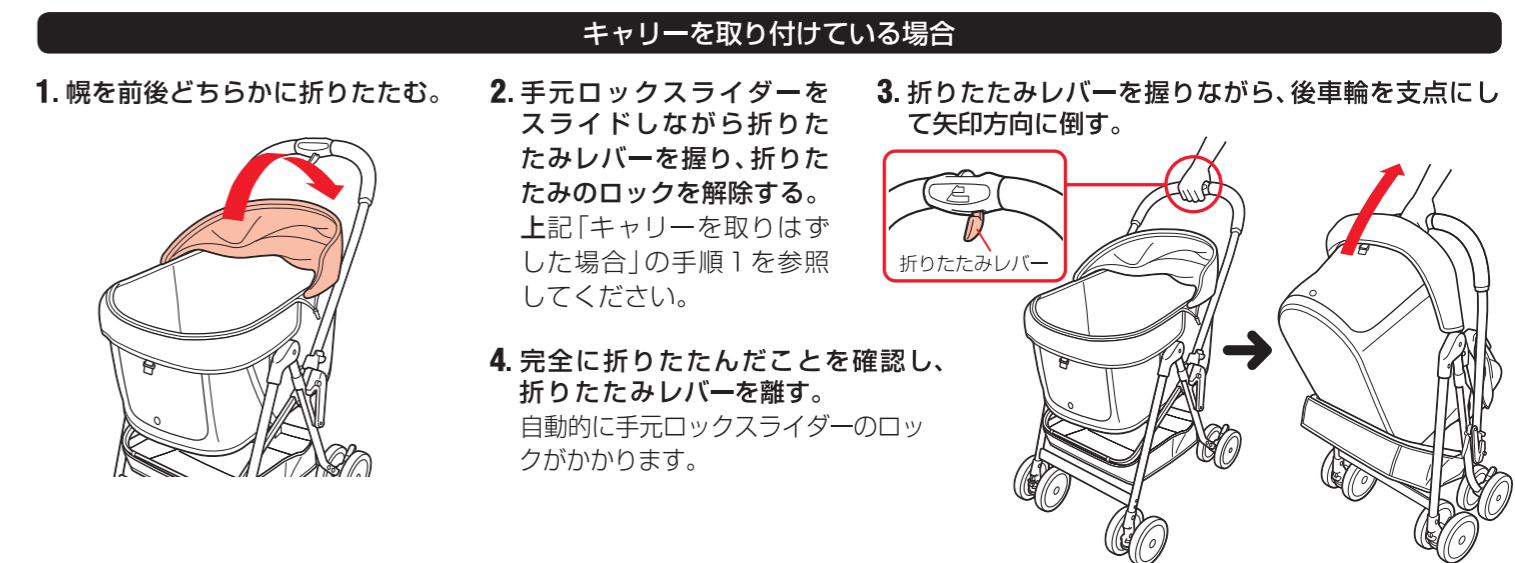
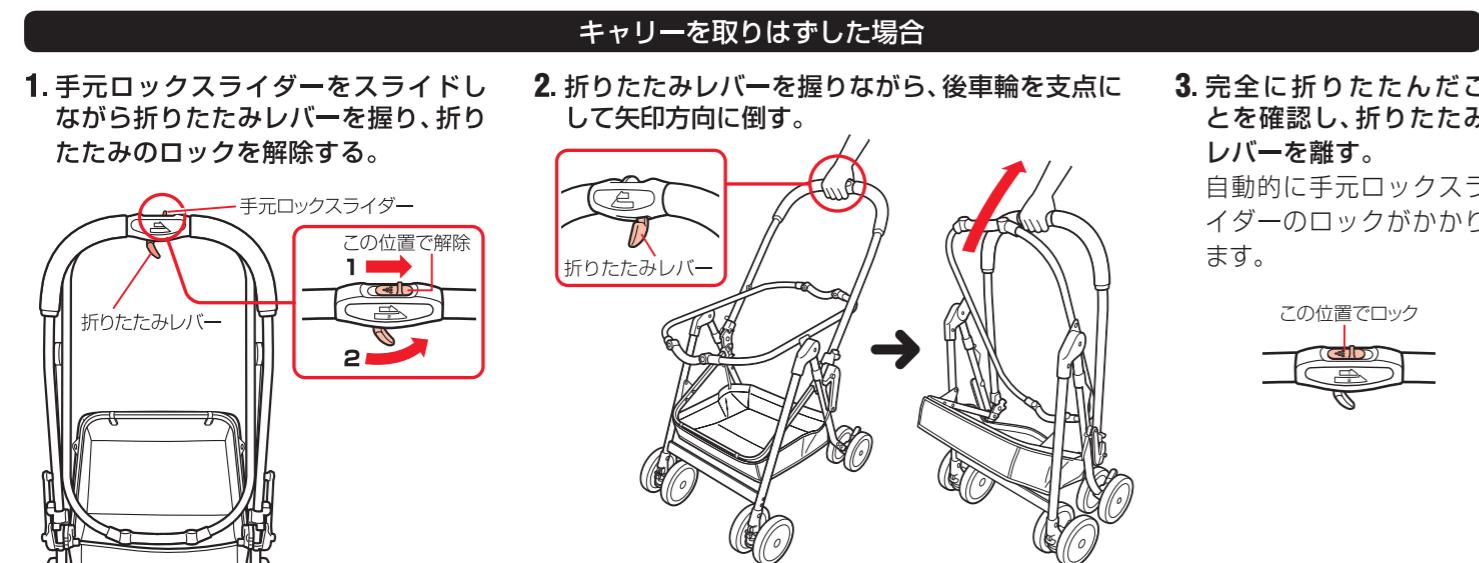
箱から取り出し初めて使用する場合やキャリーを取り付けた状態で開く場合は、すべてのキャリーホックが固定されているか、必ず確認してください。

3. 完全に開いたことを確認し、折りたたみレバーを離す。
自動的に手元ロックスライダーがロック位置に戻り、折りたたみがロックされます。

この位置でロック



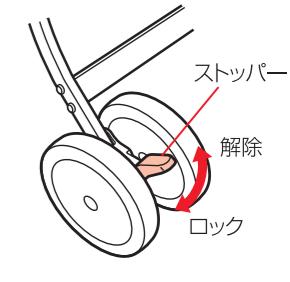
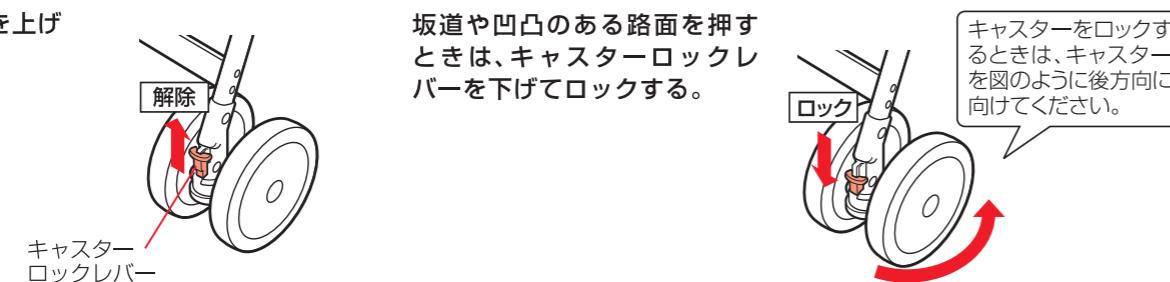
●車体はキャリーを取り付けた状態、取りはずした状態でも折りたたむことができます。



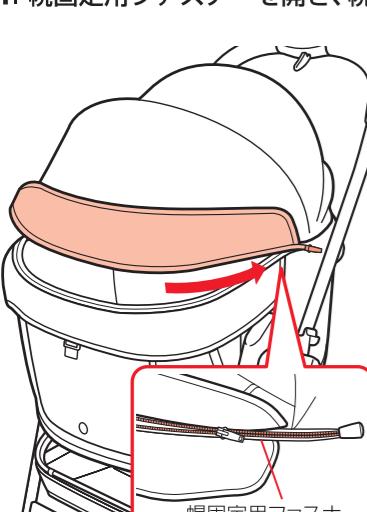
キャスターの使いかた

- キャスターを使用すると、平たんな路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。
- キャスターをロックすると、坂道や凹凸の路面で押しやすくなります。

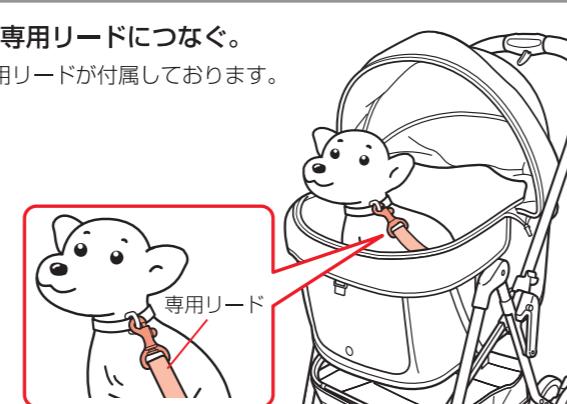
キャスターロックレバーを上げて、ロックを解除する。



1. 幂固定用ファスナーを開き、幌を開く。



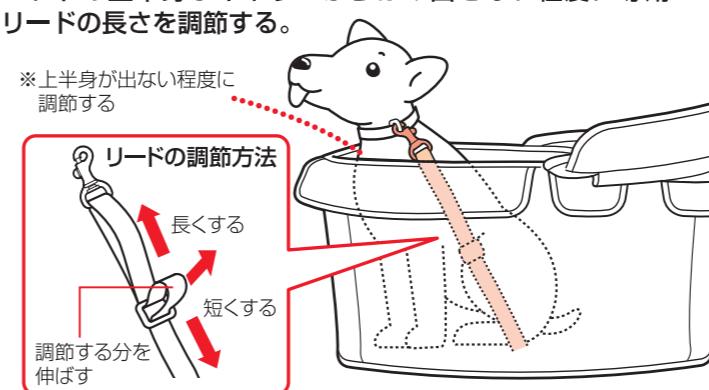
2. ベットを乗せて、専用リードにつなぐ。
※本製品には2本の専用リードが付属しております。



警告

- 使用するときは、1回につき1本必ず専用リードを使用してください。また、確実に取り付けられていることを確認してから使用してください。ベットが落するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ベットの乗せおりのときは、必ずストッパーを使用してください。ベットカートが動き出さないよう思われる事故につながるおそれがあります。
- 1年を通して、晴天日中のときは、キャリー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。

3. ベットの上半身がキャリーからはみ出さない程度に専用リードの長さを調節する。



注意

- 専用リードの長さは、必ず調節してください。
- 思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 電車の中で利用する際、周りに人がいる環境では、幌を閉じてください。また、ファスナーは最後まで閉じてあることを確認してください。

ストッパーの使いかた

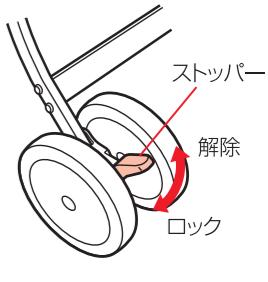
ベットカートを停止させているときには、必ずストッパーのロックをかけてください。路面状況や使用状況により、車輪が浮く場合がありますが、使用上問題ありません。

1. 左右後車輪のストッパーを押し下げてロックする。

2. ベットカートを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかるていることを確認する。

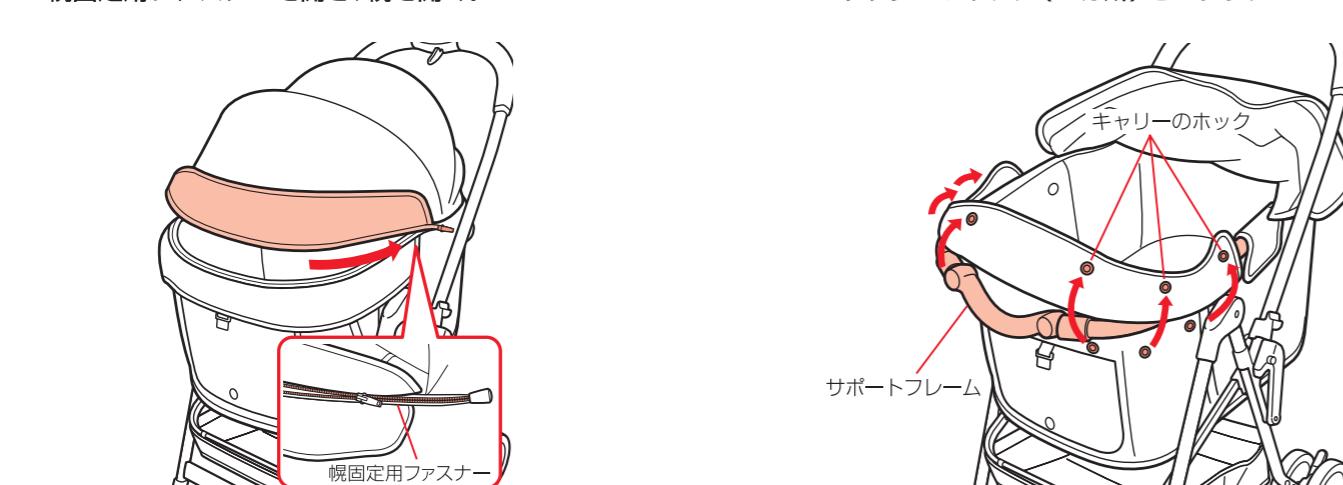
ロックを解除するときは、ストッパーを押し上げる。

*工場出荷時は、ストッパーのロックがかかるっています。ご使用の前に、ロックを解除してください。

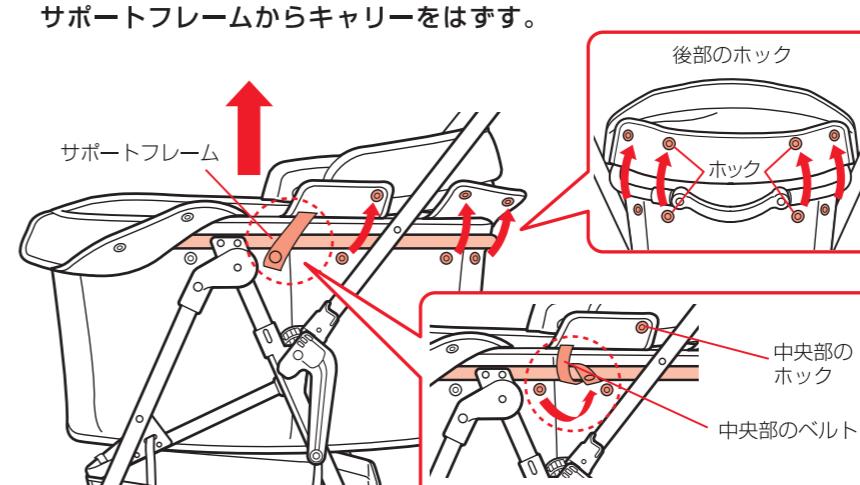


1. 幂固定用ファスナーを開き、幌を開く。

2. キャリーのホック(6カ所)をはすす。



3. キャリーの中央部のベルト(2カ所)、中央部のホック(2カ所)と後部のホック(4カ所)をはずす。

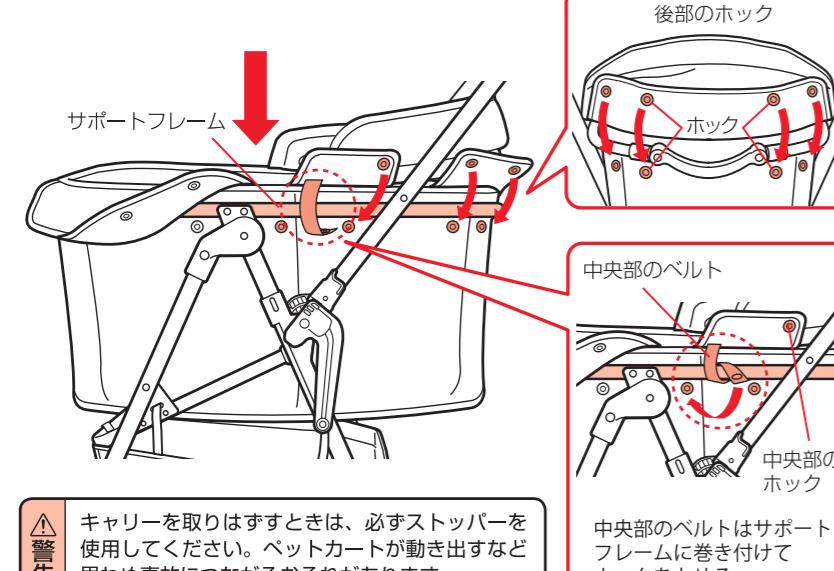


警告

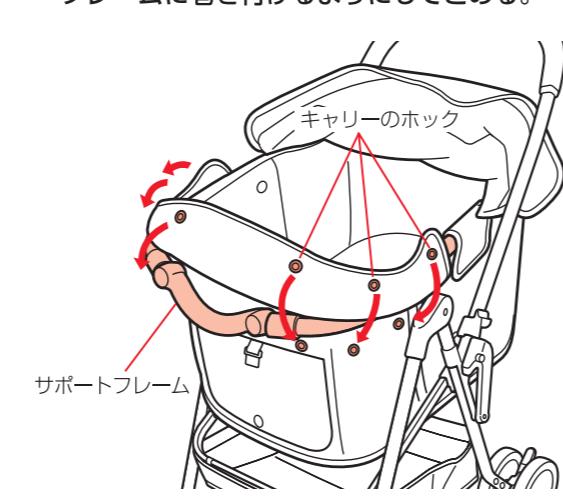
キャリーを取りはずすときは、必ずストッパーを使用してください。ベットカートが動き出さないよう思われる事故につながるおそれがあります。

キャリーの車体への取り付けかた

1. キャリーを広げてサポートフレーム内側に入れ、キャリーの中央部のベルト(2カ所)、中央部のホック(2カ所)と後部のホック(4カ所)を、サポートフレームに巻き付けようにしてとめる。



2. キャリー前部のホック(6カ所)を、サポートフレームに巻き付けるようにしてとめる。



3. キャリーの中央部のベルト(2カ所)、中央部のホック(2カ所)と後部のホック(4カ所)をはずす。

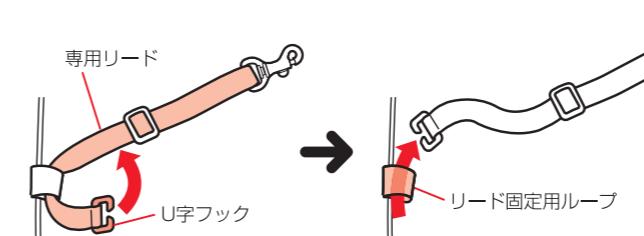
警告

キャリーを取りはずすときは、必ずストッパーを使用してください。ベットカートが動き出さないよう思われる事故につながるおそれがあります。

専用リードの取りはずしかた・取り付けかた

取りはずしかた

U字フックをはずし、専用リードをキャリー底面のリード用ループから引き抜く。



取り付けかた

キャリー底面のリード用ループに専用リードを通し、U字フックを取り付けて固定する。

